

## 令和3年度静岡県人権啓発センター事業実績

## 1 指 標

「静岡県が人権尊重の意識が定着した県となっている」と感じる人の割合の上昇を図るため、人権啓発センターの各種人権啓発活動に参加する県民の人数の増加を目指す。

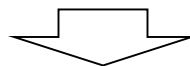
○県民への人権尊重意識の定着状況

「静岡県が人権尊重の意識が定着した県となっている」

と感じる人の割合（目標：50%）（%）

基本理念の指標（年度）	28	29	30	元	2	3
（～第2次改定） 「静岡県が人権尊重の意識が生活の中に定着した住み良い県となっている」と感じる人の割合（%）	38.9	37.1	45.3	38.1	48.2	—
（第3次改定） 「静岡県が人権尊重の意識が生活の中に定着した県である」と感じる人の割合（%）	—					39.5

※H27～30、R 2～3 は県政世論調査、元年度は人権問題に関する県民意識調査結果



## 【年代別分析】

令和3年度は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が、前年度と比べ、全世代で減少している。

一方、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の割合は、令和3年度では、前年度に比べ、20歳未満を除き各年代で増加している。

	そう思う、 どちらかといえばそう思う				そう思わない、 どちらかといえばそう思わない			
	H30	R1	R2	R3	H30	R1	R2	R3
18～19歳	66.7	66.6	65.0	20.0	11.1	0.0	0.0	0.0
20歳代	37.9	27.9	41.5	37.2	20.2	7.6	11.9	15.3
30 〃	37.1	29.9	32.1	31.1	17.1	9.7	15.4	16.9
40 〃	34.9	25.3	42.9	36.0	12.8	8.5	9.9	13.5
50 〃	40.8	37.7	42.4	38.4	12.5	5.4	9.9	11.2
60 〃	46.7	36.8	52.9	40.0	9.2	3.5	8.0	8.5
70歳～	59.8	45.8	63.8	48.1	5.3	4.2	4.3	7.6

<参考～総合計画（新ビジョン）における活動指標～>

項 目	基準値	現状	目標値
人権啓発指導者養成講座受講者数	(2017年度) 90人	(2021年度) 70人	毎年度 125人
人権啓発講座等参加者数	(2017年度) 26,040人	(2021年度) 集計中	毎年度 30,000人

## 2 事業の実施状況

### (1) 人権週間を中心とした啓発活動

#### ① マスメディアなどを活用した啓発広報

		事業実績
全域	ポスター掲出	11/下旬～12/中旬 ・ JR、私鉄各駅構内、学校、県内テレビ局、金融機関 等 掲出数:約2,800箇所
	ス ポ ツ ト	テレビ (15秒間)
	C M 放 送	ラジオ (20秒間)
	インターネット	パナー広告 Instagram・Twitter・facebook等のSNSの活用、 特設サイトでの動画配信 等

#### ② 講演会等の開催

		事業実績
全域	人権講演会①	7/7(水) 静岡県総合社会福祉会館 (Web配信併用) ○講師: 藪本 雅子 氏 (元日本テレビアナウンサー/記者) ○演題: 「差別と闘う～ハンセン病に学ぶコロナ対策～」 ○受講者: 52人
全域	人権講演会②	10/12(火) 静岡県総合社会福祉会館 (Web配信のみ) ○講師: 水無田 気流 氏 (詩人/社会学者/國學院大學経済学部教授) ○演題: 「「居場所」のない男、「時間」がない女～共に幸せになるために～」 ○受講者: 63人
中部	ふじのくに 人権フェス ティバル	12/16(木) 静岡市民文化会館 ○中学生人権作文コンクール表彰式・優秀作品朗読 ○ふじのくに人権宣言の唱和 ○講演 講師: 吉川 誠司 氏 (WEB110主宰) 演題: 「インターネットと人権～中傷、いじめ、炎上にどう向き合うか～」 ○参加者: 260人

## (2) 人権週間以外の啓発活動

### ① 研修関連事業

#### ア 出前人権講座

		事業実績					
全 域	出前人権講座		令和2年度		令和3年度(2月末時点)		
			回数	人数	回数	人数	
		実 施 先	国・市町機関	5	313	8	381
			県機関	9	729	10	635
			学校	7	1,663	16	2,738
			企業	6	166	7	587
			団体	7	275	14	544
計	34		3,146	55	4,885		

#### イ 人権教育・啓発指導者の養成

		事業実績		
全 域	人権啓発指導者養成講座	当初は会場型及びWeb配信を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年度は、Web配信のみに変更して実施した。		
			講座	講師
		9/3 (金)	「人権総論」	静岡大学人文社会科学部教授 根本 猛 氏
			・外国人県民をめぐる人権問題 「外国人と人権」	静岡大学教育学部教授 ヤマモト ルア エミコ 氏
			・同和問題 「同和問題」	磐田市ふれあい交流センター指導員 本間 肥土美 氏
		9/7 (火)	・子どもをめぐる人権問題 「子どもと人権」	NPO法人サステナブルネット理事長 渡邊 修一 氏
			・感染症等をめぐる人権問題 「感染症差別と人権」	静岡大学人文社会科学部准教授 山本 崇記 氏
			・性的指向・性自認をめぐる人権問題 「LGBT」	静岡県暮らし・環境部県民生活局 男女共同参画課長 山口 精子 氏
		9/15 (水)	・障害者をめぐる人権問題 「障害者と人権」	静岡福祉大学社会福祉学部福祉心理学科長 渡邊 英勝 氏
			・高齢者をめぐる人権問題 「高齢者と人権」	静岡県社会福祉協議会常務理事 高橋 邦典 氏
・インターネットをめぐる人権侵害 「インターネットと人権」	静岡大学教育学部准教授 塩田 真吾 氏			
○参加者:70人 (民生委員、人権擁護委員、区市町職員、教育委員会、企業)				

### ウ 子どもの自尊感情を育むためのセミナー

		事業実績
全 域	子どもと大人の 温かい絆づくり セミナー	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

### エ 企業向けセミナー

		事業実績
中 部	企業と人権 セミナー (経済産業省 委託事業)	12/10(金) 男女共同参画センターあざれあ ○講師：村松 貴通 氏 (社会保険労務士/戦略経営MBA/2030SDGs公認 ファシリテーター) ○演題：「パワハラ防止措置の法令化」～企業に求められる実 務対応～ ○受講者：61人

### オ 人権ユニバーサル事業

		事業実績
全 域	車椅子バスケット ボール体験	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント全体 (フェスタシズウエル) が中止

### カ 市町・民間団体等との連携、県民との協働

		事業実績
全 域	クローズアップ 人権講座	1/21(金) Web配信のみに変更 ○講師 鈴木 茂義 氏 (公立小学校非常勤講師) ○演題「ゲイをカミングアウトした教員と考える共生社会 ～LGBTQ+を入り口に～」 ○受講者：60人

② 新型コロナウイルス感染症に係る「STOP! 誹謗中傷」に向けた取組

		事業実績
全 域	「人権への配慮」に対する周知啓発	<p>令和3年度においても、『静岡県新型コロナウイルス感染症に係る「STOP! 誹謗中傷」アクション推進チーム』（人権同和対策室も構成員）として取組を行った。特にワクチンハラスメントに係る人権への配慮に関する周知啓発を行った。</p> <p>○主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発動画作成・発信                      ワクチンハラスメントに係る人権への配慮について、県民へ周知啓発するため、メッセージ動画を作成し、「ふじのくにメディアチャンネル」にて放映</li> </ul>
		<p>・人権週間でのテレビ、ラジオCM、Youtube 動画、ポスター掲示による広報活動</p> <p>前年度に引き続き、藤枝市出身の絵本作家マスカルシ氏のイラストによる動物のキャラクターを使って、『\ひろめよう/「あたらしい心の様式」』として、差別のない世の中へと呼びかける取組を実施</p>



	<p><b>※その他の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報冊子「じんけん」によるワクチンハラスメントに係る人権への配慮に関するメッセージ掲載</li> <li>・センターホームページへの掲示</li> <li>・「県民だより」お知らせ欄へのメッセージ掲載</li> <li>・テレビ、ラジオでの情報発信（県広報枠の活用）</li> </ul>
--	--

**(3) 相談業務**

**① 人権相談・法律相談**

		事業実績			
		(単位:件)			
全域	人権相談・法律相談	区分	令和2年度	令和3年度 (4年2月末)	相談事例
		女 性	3	3	・母子家庭を理由に近隣からの嫌がらせを受けている
		子 ども	6	3	・子どもに対する学校の対応 ・いじめに対する対応
		高 齢 者	5	2	・施設の収容先を教えてもらえない。
		障 害 者	6	6	・後見人に対する不満 ・障害を理由とした入会の拒否について不満
		同 和 問 題	3	13	・同和問題に関する国の施策への不満 ・居住地が同和地区であるか教えてもらえるか。
		外 国 人	4	0	
		そ の 他 人 権	133	144 (※)	・行政機関の対応 ・医療期間での対応 ・ハラスメント、嫌がらせ等
		合 計	160	171	
		※上記のうち、新型コロナウイルス関連相談件数	56	43	・苦情、要望 ・差別的対応 ・心配事相談

※「その他人権」の主な内訳：  
(人権侵害関係)近隣トラブル17、家庭・親族問題14、行政・警察等への苦情等11など

## ② えせ同和行為への対応

		事業実績	
全域	えせ同和行為への対応	1 相談 (単位:件)	
		令和2年度	令和3年度(4年2月末)
		相談・照会等件数	2
		※情報提供含む。	
		2 えせ同和行為排除啓発講演会 (中止) 令和4年1月24日(月) ※静岡県えせ同和行為対策関係機関連絡会(静岡地方法務局、静岡県、静岡県警察本部、静岡県弁護士会等)が主催	

## (4) 県民による自発的学習への支援

### ① 啓発教材の貸出

		事業実績						
全域	ビデオ・DVD・ 図書の貸し出し  図書総数: 1,146冊 ビデオ・DVD 総数: 472本  (単位:件)		令和2年度			令和3年度 (4年2月末)		
			映像	図書	計	映像	図書	計
		学 校	50	0	50	20	0	20
		企 業	16	0	16	6	1	7
		団 体	9	9	18	7	0	7
		個 人	68	91	159	80	78	158
		行政機関	1	0	1	0	0	0
		講演会等	2	0	2	3	0	3
		合 計	146	100	246	116	79	195

### ② ホームページからの情報発信

		事業実績
全域	人権啓発センター ホームページから の情報発信	静岡県公式ホームページ内にある人権啓発センターのページにて、イベント等の周知や新型コロナウイルス感染症に係るワクチンハラスメント防止に向けたメッセージを掲載

### ③ 啓発誌等の発行

		事業実績	
全域	人権啓発センター だより「じんけん」	令和2年度	令和3年度
		発行 部数	通巻70~72号 各7,000部
		※送付先:企業、学校、団体、国、県、市町関係機関等	
	人権リーフレット	<修正・増刷 各3,000部> VOL. 5 性の多様性について考えてみませんか? VOL. 6 インターネットと人権について考えてみませんか?	

### (5) 市町への支援

		事業実績		
全域	法務省 地域人権啓発 活性化事業 (市町実施分)・ 地方再委託費 (国10/10)	(事業内容) ・ 講演会の開催、人権啓発資料の配布等 ・ 花の育成を通じた児童生徒への人権啓発		
		東部	令和2年度 熱海市, 沼津市, 伊豆の国 市, 富士市, 松崎町 (4市1町)	令和3年度(見込) 熱海市, 沼津市, 富士宮市, 小山町, 河津町 (3市2町)
		中部	焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町(3市1町)	焼津市, 藤枝市, 吉田町 (2市1町)
		西部	袋井市, 磐田市, 菊川市 (3市)	掛川市, 袋井市, 磐田市 (3市)
		合計	12市町 国費10,087千円	11市町 国費9,580千円
全域	県交付金事業 (県1/2、 市町1/2)	(事業内容) ・ 市町が実施する人権啓発事業への助成(講演会、地域指導者研修、 講師派遣、啓発用資機材整備等)		
		東部	令和2年度 沼津市, 伊豆市, 富士市 (3市) ※熱海市(中 止)	令和3年度(見込) 沼津市, 伊豆市, 富士市 (3市)
		中部	藤枝市, 島田市(2市)	藤枝市, 島田市(2市)
		西部	菊川市, 袋井市, 湖西市 (3市)	菊川市, 袋井市, 湖西市 (3市)
合計	8市 県費1,072千円	8市 県費1,460千円		
賀茂 東部 中部 西部	市町人権施策 推進担当課長 会議の開催 (4地区35市町)	※書面開催により実施 市町における人権施策推進計画の策定に関する検討依頼、静岡県 人権施策推進計画(第3次改定版)の概要説明、部落差別解消推進 法の概要説明、性的指向・性自認をめぐる人権問題、再犯防止等に 係る人権施策の検討依頼 ほか		

### (6) その他事業

		事業実績
全域	社会を明るくす る運動啓発の発 信	社会を明るくする運動の強化月間(7月)に合わせ、運動の周 知及び保護司等の民間ボランティアの活動紹介の動画を作成し、 県の「ふじのくにネットチャンネル」にて発信